

議 事 録

公開・一部公開・非公開			部 分 非公開 理 由		
			文書管理責任者	保存期間	30（ ）・10・5・3・1・随
				作成日	令和 7 年 7 月 25 日
部長	課長	図書館長	係長	係	記録者所属 職・氏名 企画振興部 文化・スポーツ振興課 図書館係 主査 相場 みゆき 印

会議等の名称	令和 7 年度東御市図書館協議会 第 1 回会議	開催日時	令和 7 年 7 月 24 日（木） 午前・ <u>午後</u> 2 時 00 分～ 午前・ <u>午後</u> 3 時 08 分
		場 所	東御市立図書館 研修室 1
主催者(事務局)	企画振興部文化・スポーツ振興課図書館係	司会者	文化・スポーツ振興課長 高橋則幸
出席者	東御市：山口教育長、高橋課長、瀬下図書館長、小林図書館係長、相場主査 図書館協議会委員：宮嶋会長、吉原会長職務代理者、龍野委員、児玉委員、大村委員、 小笠原委員		
欠席者	東御市：中村企画振興部長 図書館協議会委員：長谷川委員、高藤委員、柳澤委員、上原委員		

議 題	(議題)	(配布資料)
	・ 令和 6 年度実績報告及び令和 7 年度の事業計画 ・ 図書館評価について ・ その他	次第、図書館協議会委員名簿 令和 6 年度実績報告及び令和 7 年度行事予定、東御市立 図書館評価
決定事項 (要点を簡条書き)		
次回への検討 事項		
次回開催	(日時) 年 月 日 午前・後 時 分から (場所)	

討議内容及び経過	（発言者名）	（発言内容）
1 開会	高橋	委員の出席は10人中6人、東御市図書館条例施行規則第19条により、
		本会議は成立することを報告する。
		会議は公開で行う。傍聴者が2人いる。あらかじめ了承願いたい。
2 あいさつ	山口	委員の皆様には、東御市立図書館が行っている図書館サービスに
		ついて、そのあり方について意見を寄せていただきたい。
		県と市町村とによる協働電子図書館「デジとしょ信州」もスタート
		から3年が経過、多くの皆様に登録していただいている。図書館利用、
		読書活動の推進については、多様な利用方法をすすめていく取組が
		必要と考える。委員には、忌憚のない意見を寄せていただき、これ
		からの図書館の発展に力添えいただくことを願います。
3 自己紹介		出席者の自己紹介を、図書館協議会委員→市職員の順番で行った。
4 会議事項		会議事項の進行は、宮嶋会長が行った。
(1) 令和6年度 事業実績及び 令和7年度事業 計画	小林	資料1「令和6年度実績報告及び令和7年度行事予定」により説明。
		雑誌は休刊等があり、減少している。一般書では、分類区分9類
		（文学）の蔵書が多い傾向であることは例年どおりである。
		貸し出し人数と来館者数は増加したが、貸出冊数は減少している。
		利用登録者数は、令和元年度が最も多く、以降年々減少している。
		デジとしょ信州の利用登録者数は、個人は増加、小中学生は減少
		している。
		移動図書館車の巡回先は、要望により増加した。
		レファレンスサービスの件数は増加、研修室・閲覧席及びインター
		ネット席の利用は増加。
		図書館まつりの来場者は増加、朗読会の観覧人数も多い。
		新規の利用登録者数は、500人弱である。図書館利用が多様になって
		いることが窺える。
		広報は、市立図書館ホームページ、市報とうみ、東御市公式LINE
		のほか、上田ケーブルビジョンの番組でテーマブックコーナーを紹介
		している。市立図書館ホームページの更新は随時行っている。
		令和7年度の事業について。東御清翔高校の「えほんのくに」は4回
		としているが、高校からの依頼により開催する。

討議内容及び経過	（発言者名）	（発言内容）
4 会議事項 (1) 令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画		夏休み子ども向け講座は、昨年度と同じ内容で開催する。
		10/4（土）の朗読会は、6月の顔合わせから始まり、出演者が月
		1回集まり、舞台を作っている。
		図書館講座は、8月から12月まで5回開催、内容は朗読のための
		ボイストレーニングである。
		大人のための絵本読みきかせは、3回の開催を予定。
		農業講座は、翌年3/7の開催を予定している。
	委員	開館時間が18:30まで、というのは普通だと思っていたが、小諸
		図書館は20:00まで開館している。暑い夏は夕方の涼しい時間帯に
		行きたいが閉館している。小諸図書館は6月から9月まで20:00まで
		開館している。東御市の開館時間は18:30までというのはどう決めて
		いるのか。
	瀬下	職員の勤務時間の問題がある。職員の勤務時間は正職員が7時間45分、
		会計年度任用職員は7時間30分である。その中で長時間開館するとなる
		と、職員の頭数が必要である。当館は職員14人で運営している。現在は
		早出・遅出の2つのシフトを敷いているが、さらに開館時間を延ばすと
		なると、もう1～2チーム増やす必要がある。現在の人員体制では長時
		間開館は非常に難しい。開館時刻を遅くするという方法があると思うが、
		現在のところは検討していない。
	委員	来館者を増やしたい、手に取る本を増やしてほしいという願いと現実
		が離れているという気がする。なぜ東御市はできないのか。
	瀬下	小諸図書館の運営はNPO法人であり、組織と運営方法が違う。
		東御市は、職員14人の体制では長時間開館できない、という状況で
		ある。
	委員	小諸図書館のような運営方法に変えるつもりはないか。図書館が身近
		になるには小諸市のやり方がいいと思うが、東御市は考えないのか。
	瀬下	今は考えていない。市立図書館は、東御市の組織として運営して
		いることを変えることは、検討していない。
	会長	職員の勤務時間はどうか。
	瀬下	開館は9:00～18:30。正職員の勤務時間は8:30～17:15と10:00～18:45、
		会計年度任用職員の勤務時間は8:45～17:00と10:15～18:45である。
	会長	開館時間を19:00までにずらすことは、検討できないか。

討議内容及び経過	（発言者名）	（発言内容）
4 会議事項 (1) 令和6年度 事業実績及び 令和7年度事業 計画	瀬下	開館時間の変更には手順が必要になる。現状では、東御市は上田地域
		図書館情報ネットワーク「エコール」の中で運営している。
		それぞれ特色がある。上田情報ライブラリーは開館時刻・閉館時刻
		とも遅い、青木図書館は平日・土日とも開館時間が同じである。
	会長	現状では難しい、ということか。19:00まででも大きく違うと思う
		が。なんとかなるならなんとかしてほしい、という要望でいかがか。
	委員	大人のための絵本読みきかせ、今年5月に行ったのが好評、という
		言葉があった。どんな好評な意見があったか。
	相場	観覧者が10人以上であれば好評と捉える。観覧者へのアンケートを
		行っていないが、退場されるお客様から「よかったよ」という声掛けを
		いただくときがある。観覧者の人数と職員が直接聞いた感想をもって
		好評と捉えている。
	会長	デジとしょ信州の登録者数、小中学生が減少しているのはなぜか。
	瀬下	令和4年度、東御市校長会に働きかけ、校長会の賛同を得て、市内
		小中学校の児童・生徒全員の利用登録を行った。学校図書館の利用者
		番号を用いてデジとしょ信州の利用登録を行ったが、個人情報保護の
		ため、保護者の同意を取った。
		令和5年度～6年度は、新規入学者の利用登録の申出がないのと、
		卒業生の利用無効化を行ったことから減少した。
	委員	デジとしょ信州が始まってから数年経っての周知、長所などを確認
		しながら行うこと大切と考える。
	会長	図書館から再び校長会へ声をかけてはどうか。
	瀬下	当初は、県下すべての市町村が協働で運営することを案内したが、
		利用者ID登録はあくまで任意であり、図書館から学校へ「やってくだ
		さい」とお願いするは変である。実際に利用している児童・生徒は一部
		であることは事実である。学校の授業で使える同時アクセスモデルの
		電子書籍を充実させようという動きになっている。むやみにデジとしょ
		信州の利用をPRしてもあまり効果がないのではないか。
		今年4月、教員用のデモIDを各小中学校に交付し、使い勝手を先生
		自ら体験してもらう取り組みをしている。改めて校長会に働きかける予
		定はない。
	会長	使い勝手など課題はあるが、このような話があることを校長会でも
		話してはいかがか。利用が促進できればよいと思う。

討議内容及び経過	（発言者名）	（発言内容）
4 会議事項 (1) 令和6年度事業実績及び令和7年度事業計画	委員	デジとしょ信州の選書について伺いたい。著作権が切れた古い作品
		しかない、実際に読みたい本がない。児童の観点でも、学校で人気がある本は予約が何年も続いている。デジとしょ信州には児童の人気が集
		まっている本がない。学校司書からの選書の希望が通るとよいと思う。
	瀬下	デジとしょ信州運営委員会の会議の出席者はすべて行政関係者で、
		学校関係者がいない。選書は公共図書館の視点で行っている。
		同じ教育委員会でも義務教育のセクションと生涯学習側（図書館）が
		一枚岩になっていない。学校側の意見が反映されていないのが実態と
		してある。選書部会でもそこが課題に挙がっている。
	委員	学校図書館では、人気の本1冊に予約が6～7人つくことがある。待
		ち切れなくて、児童が直接購入したり、公共図書館の蔵書を借りるとい
		うことがある。公共図書館で貸出件数が高い本を推薦してくれると、
		児童向けの本も扱ってもらえると思うので、利用者の声を反映してほ
		しい。
	小林	資料2「東御市立図書館評価」により説明。
		東御市総合計画に基づく評価について。
		年間貸出冊数、目標の162,000冊にまだ達していない。令和6年度
		の貸出冊数は147,095冊、令和5年度より増加したが目標に達しなかつ
		たので評価は「C」とした。一人が借りられる冊数を増やしてはどうか
		という意見があるが、現在の貸出上限は一人10冊までとしている。読書
		手帳の記録100冊で10冊多く借りられる特典があるが、利用者への貸出
		冊数増加は現在のところ考えていない。
		蔵書の充実、評価は「C」。内容の決定について知りたいという指摘
		あり。東御市立図書館蔵書基準第2条「市民の知的好奇心及び社会的な
		動向に十分配慮して、文化教養、調査研究、趣味、余暇活動等に資する
		資料を広範囲にわたり収集する。収集に当たっては、著者の思想的、
		宗教的、党派的立場にとらわれることなく、それぞれの観点到った資
		料を幅広く収集する。」に基づき、司書が選書している。
		市民ニーズの把握、評価は「B」。スマートフォンの市のお知らせに
		新書などをだしてもらえるといい、という指摘あり。今後検討したい。

討議内容及び経過	（発言者名）	
4 会議事項 (2) 図書館評価について		東御市立図書館基本理念に基づく評価について。
		インターネット利用による情報提供、評価は「C」。利用できる人が
		限られているのが原因か。夏休みインターネット講座とかどうか、とい
		う指摘があるので、今後の講座組み立てについても検討したい。
		基本理念「学校、家庭、地域との連携で子供たちを育てる図書館」
		「地域文化を創造し、市民協働による図書館」の評価はいずれも「A」。
		今後、イベントの内容等も検討しながら、委員の意見を反映してより
		よい図書館運営を行いたい。
	委員	1 か月前、原口区の歴史を知りたくて、図書館 1 階でレファレンスを
		依頼した。司書から 2 冊提案されたが、ほぼ 1 ～ 2 ページ程度の記載で
		あった。
		東御市文書館を訪れたとき、昨年原口区で見つかった遺跡の写真が
		展示されていたり、「文書館なら歴史が調べられる」と言われた。
		図書館では何の手ごたえもなかった。どこに行けば自分が知りたい
		情報が得られるのか。文書館と図書館は別々なのか。
	高橋	文書館も図書館も文化・スポーツ振興課で管理している。文書館の
		役割は、古文書の調査研究と公開、行政文書の整理の 2 本立てである。
		歴史の部分については、調査研究が進んだ物は公表している。図書館と
		の差については難しいが、資料としてしたためたものを図書館で公に
		する前段階で、古文書を調査・分類をしている。古文書等の照会は、
		文化振興係へ依頼願いたい。
	委員	歴史を調べたいときは、図書館だけでは駄目なのか。
	高橋	資料的に提供できるか否か調査研究している部分もある。歴史を探り
		たい窓口の一つとして文化振興係に相談願いたい。
	会長	図書館で「文書館という窓口もある」という一言が欲しかった、と
		いうことか。
	高橋	図書館と文書館、横の連携も仕組みとして作る必要があると思って
		いる。公開したものは調査研究をしたものである。久保在家の関係は
		報告書としてまとめたものを公開した。
	会長職務代理	上田図書館は、地域資料が充実している。
	委員	学校と図書館との連携について質問する。
		市内中学校では職場体験で関わりがある、保育園は移動図書館車が
		巡回している。小学校では、学年（学級）単位で利用件数はどのくら

討議内容及び経過	（発言者名）	
4 会議事項		いあるか。
(2) 図書館評価について	瀬下	市議会の議場を見学したついでに図書館を見学する、ということは
		あるが、図書館を目がけての利用はない。
		学校連携では、調べ学習のための資料貸出は頻繁に行っている。
	委員	正直、もったいないという気もしている。移動図書館車という仕組みを児童たちがどこまで知っているかと考えたとき、例えば、3年生
		4年生で地域のことを学ぶ、高学年では行政のことを学ぶとき、市として図書館サービスを学ぶ機会が（移動図書館車が学校を訪問、地域
		探検で図書館を訪問など）できるのか。
		タブレット端末で簡単に調べられる時代だからこそ、図書館で調べる
		体験は価値があることである。市内にある素晴らしい施設を知ることが
		生涯を通じて読書をする生活につながっていくのではないかと。学校行事
		として入れると負担になるが、学習の延長として行うことが可能であれば、よいアイデアを出しながらやっていきたい。
	瀬下	第2次東御市子ども読書活動推進計画を昨年度から実施しているが、
		学校図書館との連携で移動図書館車のことが記載されている。学校を
		訪問して親子で読書に親しもうと、保護者にも一枚加わっていただき
		たいという思いがある。学校参観日に訪問するという計画を立て、昨年度
		照会したが、参観日のスケジュールがタイトであるので非常に厳しい
		ということではできなかった。今年もできていない状況である。
		移動図書館車は、毎週水曜日の昼間に巡回している。児童は通常見る
		機会がないので、この取り組みをぜひ知ってもらって読書に親しむよう
		になってもらえたらよいが、実現のチャンスがない。
		夏休み中の児童館・児童クラブへの巡回を考えているが、移動図書館
		車の活用方法を検討している。学校側も協力願いたい。
	会長	横の連携が取れておらず、うまく活用できていないという印象を
		強く感じた。
(3) その他	瀬下	現在の図書館システムの機器、令和2年度に更新を行った。リース
		期間が過ぎたので、今年度はシステム更新の時期である。上田市、
		東御市、長和町、青木村、坂城町の公共図書館と小中学校47校の
		システム更新を、12/22～1/8の間に行う。改めて広報でも知らせる。

討議内容及び経過	（発言者名）	
4 会議事項 (3) その他	会長	図書館の位置がわかりづらいという意見、前回の会議で出たが、
		そこからどのように変わったか、説明願いたい。
	瀬下	市役所周辺の建物管理を含めて、サイン関係は総務課が行って
		いる。図書館の位置がわかりづらいという意見は話しているが、具体
		的に看板を増やした、ということはない。市役所周辺全体を含めて
		総務課で検討しているところである。
	会長	何も変わってない、という結果は少し悲しい。また検討いただき、
		図書館の位置が分かりやすくなるようにしてほしい。
	委員	駐車場から図書館への位置がわからない。
	高橋	横の連携がうまく取れていないこと、課題と思う。同じ課の中なの
		で、横の連携を密にしたいと思う。
		また、公共サインは市役所全体の課題である。総務課には伝えて
		いるが、見直しも今後要望も進めたい。
5 閉会		15:08 閉会